

金ヶ崎緑地にぎわいイベント！



人道の港敦賀ムゼウムのリニューアルオープンから約1週間（11月3日～8日）、金ヶ崎緑地一帯にて、シンポジウム、ワークショップ、食、音楽など様々な催しが集う「人道の港国際文化交流ウィーク」が開催されます。詳しくは10月中旬公開の専用ホームページをチェックしてください。

検索 | 人道ウィーク



ご利用案内

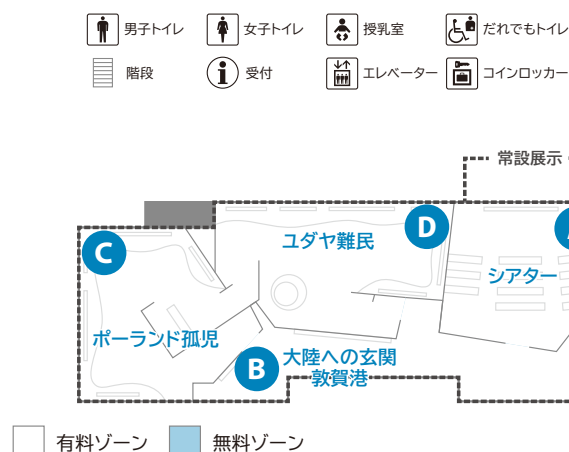
開館時間 9時から17時（入館は16時30分まで）
※11月3日は開館式典終了後の12時から一般開館
休館日 水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
 ※11月4日は開館します
入館料 一般500円、小学生以下300円
 ※20人以上団体割引あり
 ※4歳未満の方、障がいのある方とその介護者1人は無料
駐車場 金ヶ崎緑地駐車場（普通車128台、大型5台）
所在地 金ヶ崎町23-1（下記MAP参照）



▼館内では命の資料も閲覧できる

D ユダヤ難民

ヨーロッパを脱出し、敦賀を経由して第三国に渡って行ったユダヤ難民の史実について紹介。敦賀上陸当時の詳しい状況に関する市民証言のほか、ビザのレプリカなどを展示しています。



□ 有料ゾーン □ 無料ゾーン

E 交流コーナー

敦賀に上陸した人々のその後の生活のほか、再び敦賀の地を訪れたご本人やご家族、関係国との交流を映像などで紹介。来館メッセージも記入できます。

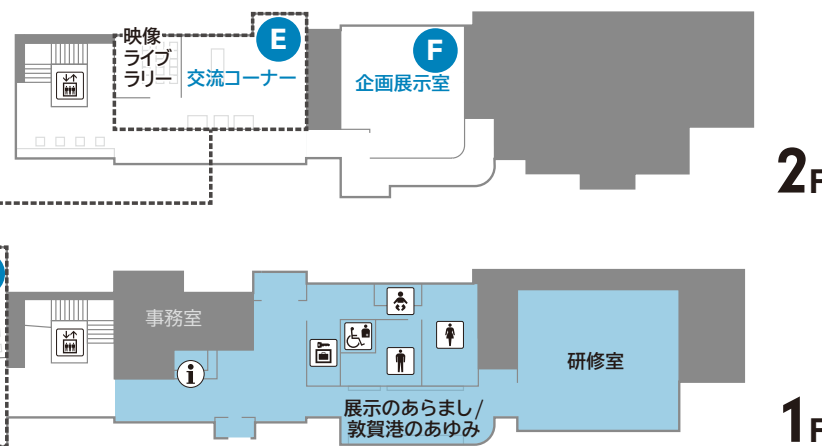
F 企画展示室

所蔵史料や人道の港に関する期間限定の企画展などを開催。リニューアルオープン時は、これまでに敦賀市に寄贈いただいた資料や市内に現存する史料を特別公開します。

11月3日リニューアルオープン！ 人道の港 敦賀ムゼウム



新しいムゼウムは、孤児や難民が上陸した大正から昭和初期に実際にあった敦賀港駅など4棟を復元しています。

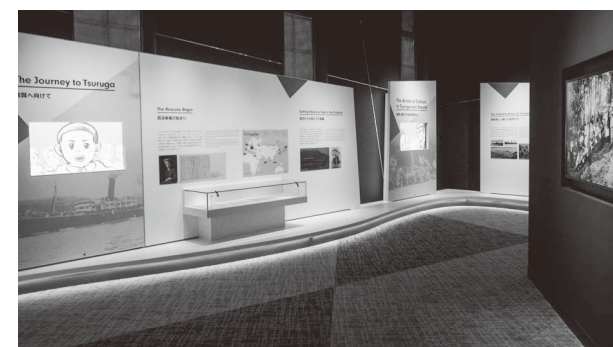


B 大陸への玄関 敦賀港

孤児と難民が上陸する舞台となった敦賀港の発展のあゆみを写真や図で紹介します。

C ポーランド孤児

シベリアから救出され、敦賀に上陸したポーランド孤児の史実について紹介。孤児が残した日記などの史料のほか、来日100周年を記念して制作された大型の陶板レリーフも展示しています。



オンラインのエピソードを発信
 敦賀港には、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港としての歴史があります。
 11月3日にリニューアルオープンする「人道の港 敦賀ムゼウム」は、苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の史実を中心に、当時の敦賀市民の証言や、今も続く関係者との心温まる交流など、オンラインの「人道の港」のエピソードを紹介します。新たにシアターや、孤児・難民に関する新史料が加わり、さらに充実したムゼウムにぜひお越しください。

A シアター

200インチの大型スクリーンにて、なぜポーランド孤児とユダヤ難民が敦賀港に上陸したのか、人道の港敦賀にまつわるエピソードを映像で紹介しています。

